

# Together

トウギヤザー

Together  
vol. 23

## 第18回 日本褥瘡学会学術集会での タイカ共催セミナーを特別収録



巻頭  
レポート

### Special Report

テーマ1

安心して下さい。褥瘡発生を予防していますよ  
彦根市立病院 診療局主任部長 兼 外科部長  
切手俊弘先生

テーマ2

病院機能評価で最高評価「S」評価を  
取得したマットレス管理  
彦根市立病院 看護部 副看護部長  
特定看護師 皮膚・排泄ケア認定看護師  
北川智美先生

生き活きサポートセンターうえるば高知代表

連載

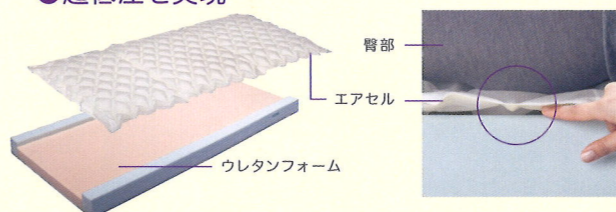
下元佳子のつぶやき  
「Well-being を考える」

床ずれ高度リスク向け  
静止型ハイブリッドマットレス

## アルファプラ ビオ αPLA bio



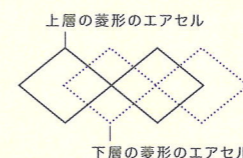
### ●超低圧を実現



「アルファプラ ビオ」は、エアセル+ウレタンフォームの二層構造。上層のエアセルは、ウレタンフォームに底付きしないギリギリまでエア量を減らし、ウレタンフォームと身体の間指が1本入るだけの厚みで、常に超低圧をキープします。そのため、皮膚にかかる外力を極力軽減することができます。

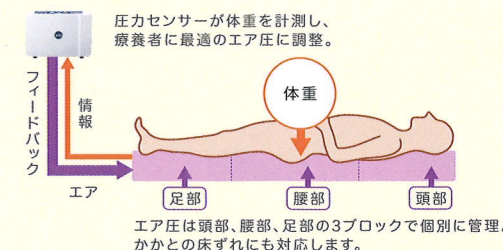
### ●身体に優しいエアセル

横に長い菱形のエアセルを、上下で50%ずらして配置した二層構造です。これにより突出した骨がくぼみにはまることなく、ずれ力も効果的に軽減します。



### ●体重フィードバックシステム

療養者が「アルファプラ ビオ」の上に寝るだけで、体重を自動で計測し、その方に適した体圧分散をします。さらにエアセルは、頭部、腰部、足部の3つのブロックに分かれていて、個別に圧力を調整します。センサーが圧力の変化を見守っているため、療養者の身体をいつでも最適な状態に保ちます。



### ●底付きしない背上げセンサー搭載 [MB-BF-HG] のみに付属

ベッドの背上げ動作を感知し、腰部のエアセルにエアを送り込むので底付きしません。同時に、頭部のエアセルのエアは抜けていくので、圧迫感がなく心地よく背上げができます。

## Together 編集部発

編集長の **ひとりごと**



創刊号より編集長を務めて参りましたが次号より担当が変わることとなりました。読者の皆様からの叱咤激励と、誌面に登場していただいた皆様のご協力があるの誌だと思っております。心より感謝するとともに、これからも床ずれを一緒に考える情報誌「Together」をよろしく願い申し上げます。

Vol.24の  
発行は  
2017年  
1月下旬!



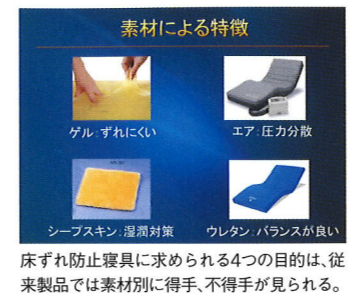
## 大盛況となった セミナーを特別収録

早くから地域と包括的な褥瘡予防に取り組み、院内での褥瘡ゼロを実現した彦根市立病院の切手先生・北川先生による第18回日本褥瘡学会学術集会で行われた貴重なランチョンセミナー(タイカ共催の要約版を特別にお届けいたします)。

### テーマ1 安心してくださいますよ 褥瘡発生を予防していますよ

彦根市立病院 診療局主任部長兼外科部長 切手俊弘先生

褥瘡は圧迫だけでなく、ずれ「対策が重要」  
褥瘡は、骨と皮膚との間の組織が圧迫されて起こります。が、実は圧迫だけでなく、ずれる力(せん断力)、引っ張り力、圧縮力といったいろいろな力がかかります。このずれや摩擦をどうするか、考えなきゃいけない。従来、除圧・減圧という言葉が褥瘡の世界では使ってきましたが、今後、まだなじみがないですが、「圧再分配」という言葉に変わっていくと思われま。



床ずれ防止寝具に求められる4つの目的は、従来製品では素材別に得手、不得手が見られる。人の身体には骨突出や生理的な湾曲などの凹凸があつて、マットレスとの接触面積の拡大には限りがあります。「圧再分配」というのは、沈める。包む、それから一時的に接触面を開放させてほかの部分に圧力を移す。経時的な接触面の変化、この3つによって圧力を分散し、一点に加わる圧を低くするという働きになります。床ずれ防止用具には、大きく4つの目的があると言われております。「圧力分散」と、最初に言った「ずれ対策」、そして「湿潤対策」、最後に忘れてはならないのが「安定性」です。

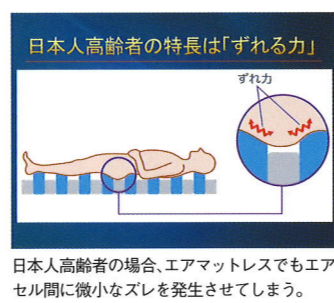
防止することと安定性に長けている。ウレタンやラテックスフォームは、バランスがいい。一方、エアマットレスは圧力分散には長けていますが、ずれ対策、湿潤対策、それから安定性が不十分です。これらをすべて備えた体圧分散寝具が望まれていました。これがハイブリッドマットレス「ピオ」の開発につながったのかなと思えます。圧の分散に長けたエアマットレスにウレタンの安定性を入れ、いいとこ取りをしたと考えるとどうでしょう。

予防と寝心地を両立し  
より快適に  
他社のものにもとつてもいいマットレスがありますが、ほとんどのエアマットレスは、一定時間おきにほこぼこと、エアの量や場所がコンピューター制御されます。ところがみなさん、実際エアマットレスに寝たことがあるでしょうか? 一定時間おきにほこぼこと制御されること、これは寝心地といふことを考えたときに本当に大事なことがあるのか。本当はそれは、無視してはいけないことなんじゃないか。また、日本人高齢者の特徴は、ずれ力です。褥瘡というのは圧迫だけではなく、この日本人高齢者の特徴を考えると、ずれ力に気を配らなければいけません。先ほどのようにコンピューター制御されるタイプのエアマットレスですと、小さなところの微小なずれを発生させて、治りが悪くなつ

ているのではない。  
そこで、このほこぼとしたところを極力薄くしたのが今回の「ピオ」です。カバーに極薄いエアセルを入れ、その下にポリウレタンフォームということで、ハイブリッド構造になっています。そして、超低圧で身体を外力から守るということで、実はこれは、圧を切り替えるんですけども、静止型のエアマットレスなんです。優しく分圧するエアセルと、寝心地や安定性を考えるウレタン

フォームの——これ、自分で考えていいなと思つたんですが、いい「床」と「取り」なんです。ほかの会社のものはしっかりと圧を切り替えてしまふので、それが逆にずれを作つたりする。寝心地を考えた「ピオ」は、ゆつくりとゆつくりと小さい圧の変化を作つてくれる商品で、ずれ対策に有効な点ではないかと考えております。

安心して、安楽にするということも大切なことです。コンフォートということをもっと重視したうえで、これからのマットレスを考えて予防、そして寝心地ということを改善していきたい。  
ということ、ちょっと古くなりましたが「安心してください、適切に予防してありますよ」と、いいとこ取りの静止型ハイブリッドマットレス、アルファブラの「ピオ」をご紹介します。これ



からもみなさん一緒にですね、褥瘡予防についていまいと、もう一度、体圧分散寝具というものを考えていただければと思います。



切手俊弘先生  
Toshihiro Kite  
日本外科学会専門医、日本褥瘡学会認定師。彦根市立病院 主任部長。専門は消化器・創傷管理。外科医として経験を積み、高齢者を診療する機会に恵まれ、褥瘡の症例を数多く経験。現在は公立病院から在宅医療を行う体制をとっており、日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会理事も務める。

ランチョンセミナー。[みなさんよく、ご飯を食べながら褥瘡の話が聞けるなあとありますが(会場笑)]という第一声からスタートした切手先生の講演は、その後とときに場を和ませるトークを交えながら、「アルファブラピオ」の静止型ハイブリッドマットレスという特性を「圧再分配」をポイントに解説いただきました。



### 第18回 日本褥瘡学会学術集会 2016.9.2-3@パシフィコ横浜

坪井良治(東京医科大学病院 皮膚科)会長のもと「深まる知識広がる連携」を大会テーマに、パシフィコ横浜にて2日間にわたり開催。国立大ホール、会議センター(写真右)、アネックスホールでの演題発表や各種セミナー、ワークショップ、シンポジウムの開催のほか、展示ホールではタイカをはじめ福祉用具メーカーなど72社と書店7社が出展。初日に会議センターで開催されたタイカのランチョンセミナーには、開始1時間前から行列ができる盛況ぶりでした。



### テーマ2 病院機能評価で 最高評価「S」評価を 取得した マットレス管理

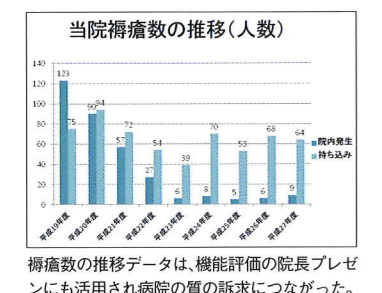
彦根市立病院 看護部副看護部長  
特定看護師 皮膚・排泄ケア認定看護師(WOC)  
北川智美先生

す。サーベイヤー——機能評価で審査する人ですけれども、「すごく褥瘡が少なくてすね」と非常に好感を持っていただき、病院の質のひとつのウリのデータになりました。

機能評価では事前に自己評価をするんですけど、私は「S」で出しました(笑)。最終的に「S」をもらったのは私のところだけで、あとは「A」評価止まりでした。みなさんにお伝え



機能評価において褥瘡対策が重要な指標に  
それでは、病院機能評価で最高評価「S」評価を取得したマットレス管理ですけれども、今日は、ここにきていただいた方しか伝えられないコトといふをお話しさせていただきます。と思います。







## 新商品 「アルファプラビオ」の 展示も行いました。

学会期間中、展示ホールに新商品「アルファプラビオ」および「アルファプラ」を展示。特に切手先生のランチョセミナーでも取り上げていただいた。静止型ハイブリッドマットレスである「アルファプラビオ」への関心は高く、みなさんカバーをめくってエアセルを確かめられたり、座ったり寝そべったりして熱心にチェックしていかれる姿が印象的でした。「アルファプラビオ」の情報はすでにお持ちで、現物を確かめに来たという方が多かったよう。なかには「自身で念入りに試してから、同僚を連れて戻って来られるという方も見受けられました。



新商品「アルファプラビオ」の展示風景。30分ほど寝転んでみて、試していける様子がたびたび見かけられました。タイカのパンフレットを入れた紙袋は、広いホール内でも目につきました。



彦根市立病院 <http://www.municipal-hp.hikone.shiga.jp>

住所 〒522-8539 彦根市八坂町1882

TEL 0749-22-6050

日本医療機能評価機構が実施する「病院機能評価」にて、「褥瘡の予防・治療を適切に行っている」の項目で最高評価の「S」評価を取得。彦根市を含む滋賀県湖東医療圏において、急性期医療を担う中核病院。平成20年に褥瘡専門外来が開設されて以来、北川智美さんを中心とする看護師、管理栄養士、ソーシャルワーカーと、褥瘡外来スタッフがチームとなって地域の褥瘡対策に取り組み褥瘡発生ゼロを達成。

「カンファやマニュアルが活用されている」と  
すでに機能評価のホームページに、彦根市立病院の審査結果が載っています。大事なポイントがいくつかあります。「褥瘡対策マニュアルが整備され」「みなさんマニュアルOKですか？」「委員会やスキンケアリンクナースが組織化されている」、あるだけではだめです。しっかり組織化されていますか？「褥瘡対策チームカンファレンスや、褥瘡

ハイリスク対策カンファレンスは病棟ごとに開催され、褥瘡に関する危険因子の評価や日常生活自立度は活用され「やっているだけ、つけているだけではだめです。この「活用され」ということが大事です。いかに展開しているか——作っているだけ、飾っているだけではだめなんです。そこをプレゼンテーションする必要があると思います。

チームワークの向上や自身の活動評価の機会に  
まとめますと、褥瘡がないこと、早くよりよく治せること、それが病院全体の質の評価の指標になります。院外からの質の評価は、機能評価以外にもありますが、それをチームワークが高まる重要な機会として、管理者だけで背負わないで共有することが大事です。また、機能評価を自分の活動の評価の機会として、結果をアピール



ンに行くときにぶつきましたとかね。始末書を書かせても直るものでもないですし、ほとほと疲れますよね。また、みなさんの病院のエアマットレス、きれいですか？感染管理の人なんか言ってますよ。そこで、私のところは日割りレンタルを入れました。日割りレンタルのメリットとして、高温で綺麗にする機械があったり、やはり綺麗にしてくださいという事です。これも一定の基準を作っておりますが、月初め1日のマットレスの稼働率を調べてみました。やっぱり季節変動があるんですね。ここの患者さんの取っでこつちに回さなければいけない。その患者さんも季節によつてはエアマットに乗っていただけるのにかわいそうですね。そういう不公平も解消されます。



### 北川智美先生

Tomomi Kitagawa

特定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師。彦根市立病院 副看護部長。地域と包括的な褥瘡予防に早くから取り組んできたエキスパート。病院地域連携センター副参事・在宅医療支援室主任として、切手先生とともにさらに在宅診療に力を入れる。

してください。普段一生懸命頑張っている上の方で気づいてくれなかつたりしますよね。ですので、最初から「S」でいってください。この機会を使って、院内の褥瘡予防環境に理解を示していただければ、物が入ると思います。物を買ってもらおうという言い方じゃなく、環境を整える大事なお仕事だと思えます。どうぞ頑張ってください。

### タイカとの連携について

◎詳細はP7へ

北川さんが皮膚・排泄ケア認定看護師となられた平成19年から始まったタイカと北川さんのお付き合い。その出会いが、タイカのマットレスが全国の病院へと展開されていく起点となりました。



彦根市立病院がタイカ製品をレンタルしている業者も出展。



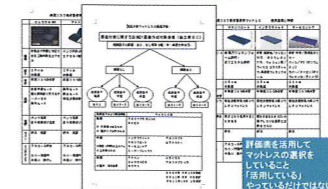
講演後は質疑応答も行われました。特に、マットレスの経年劣化への対処について突っ込んだ質問が寄せられ、彦根市立病院では洗浄システムが入っていることなどが紹介されました。

「ボジョニングのポイントや評価表など共通理解」ということですね。ボジョニングはなかなかマニュアル化できるものじゃないんですけど、だいたいこういうふうにはやっているとAパターン、Bパターンという感じで体位を決めて共通用語を持つようにしています。事細かに伝えなくても、だいたいのは決めてマニュアルに入れていくこと、これも機能評価の方に説明して、感心していただきました。

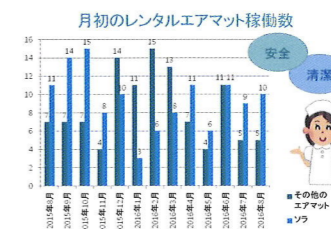
ほかにも、スキンケア通信を毎月発行しています。もうすぐ100号になりますが褥瘡学会などで習ってきた難しいことを、自分の病院のレベルに噛み砕いてまとめています。こういう大事なものは一目で、だいたい1分くらいで読めるように作ってあげてください。この前、WOCの学校の先生に「スタッフの末端までスキナーって言う言葉が行き届いていてすごいですね」と言われたんです。こうやって情報を噛み砕いて流すということは、WOCのみなさんの役割だと思います。うちは褥瘡マニュアルでも、決まり切ったことを書いた後、なにをどういうふうにしてほし

「ボジョニングのポイントは、共通理解を醸成する」  
もうひとつ、ボジョニングについての評価もされました。「ボジョニングのポイントや評価表など共通理解」ということですね。ボジョニングはなかなかマニュアル化できるものじゃないんですけど、だいたいこういうふうにはやっているとAパターン、Bパターンという感じで体位を決めて共通用語を持つようにしています。事細かに伝えなくても、だいたいのは決めてマニュアルに入れていくこと、これも機能評価の方に説明して、感心していただきました。

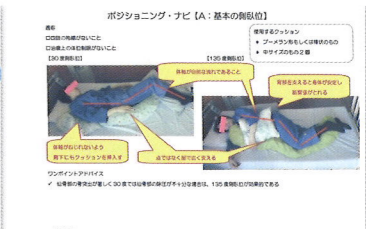
### マットレスの選択基準



導入されているマットレスはマニュアルに詳細が記載されており、選択基準も明示されている。



月初に一年間、レンタルエアマット稼働数を調査したデータ。季節変動が見てとれる。



ボジョニングも共通理解をもてるようマニュアル化。理解しやすいよう写真入りで掲載する。



# 北川智美さん × タイカ

日本褥瘡学会でランチオンセミナーにご登壇いただいた北川智美先生とのお付き合いは、そのままタイカの病院への展開の歴史と重なります。担当営業 濱野諭さんに聞きました。

## ”北川さんの紹介ならばと信頼いただけることが、すぐく財産になっています”

デモ評価を経ていきなり約30枚購入

北川さんにお会いするきっかけは、レンタル業者さんからの紹介でした。「彦根市立病院に褥瘡に熱心な看護師さんがいるので、一度訪ねてみたら？」とご紹介いただいたんです。北川さんが皮膚・排泄ケア認定看護師(WOC)になられた翌年、平成19年のことで、そのころはまだ院内での褥瘡発生率も高く、「これから褥瘡ゼロに」と取り組んでおられたころでした。

当時はタイカも2種類しかマットレスがなく、商品紹介というよりも、どちらかと言うとどういう会社かという説明をさせていたんだんですが、「お試しでいったん使ってみよう」とおっしゃっていただいたので、静止型体圧分散マットレスアルファプラすくく」をデモ評価していただくことになったんです。

すると翌年、「一気に約30枚も購入してくださって。北川さんは彦根市でヘルパーさん・看護師さん向けに研修を引き受けておられたので、「ちょっと手伝ってよ」とそれを縁に声を掛けたい」だかようになり、研修に体圧分散測定器を持って行ったり、徐々に深いお付き合いをさせていただくようになりました。

平成18年には、大浦武彦先生(褥瘡・創傷治療研究所 所長)が立ち上げた日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会の賛助会員となり、常任理事の堀田由浩先生(希望クリニック院長とコラボレーションしてセミナーを開催したりしていました。北川先生は当時から、持ち込み褥瘡も減らしたいと在宅に熱心でした。在宅では褥瘡の情報が乏しいので病院へ持ち込んでしまおう、そこをなんとかしたいといけな。そこで、堀田先生と全国で行っていたセミナーに聴講に来ていただいた

り、北川さんが地域で研修されるたびに堀田先生に来ていただいたり。そういったお付き合いがきっかけで、北川さんも日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会の理事に就任されました。

「なんとかして褥瘡をゼロに」という北川さんの高い志にぜひ協力したい、商品だけではなく情報を提供したいという思いがありました。また、私たちもそれまでは在宅への営業が中心で、病院へ展開を始めたところだったので、まったく病院のことが分からない。医療職の方を相手に何をお話しているのか、敷居がすごく高く感じられていたのです。そこを、姉さん肌といいますか、あのキャラクターで、いいよ、おいでよ」と温かく迎えてくださって足繁く通うことになりました。

タイカの医療機関への展開は、北川さんとお付き合いが間違いなく起点になりました。今回のランチオンセミナーでもお話しいただいた「ソラ」というマットレスも、北川さんに「がん患者さんの」緩和ケアにいいと評価いただいたので、それを自信に全国の病院へ広めることができたんです。

北川さんの評価を自信に医療機関へと展開

ポジショニングや動作介助の研修をさせていただく機会を沢山頂いてきました。しかし、技術を覚えても、対象者に良い結果生活を快適にするという結果を出すことができてない現場も多いと感じています。その理由は、もちろんいろいろあります。が、技術を浸透させるうえで、大切にすべきこととはどのような向き合いかだと思っています。対象者のあるがまま(多様性)を認め受け入れ、重症度を問わず、目の前の人が主体的に快適に暮らすためにどのように向き合うのか、そのためにどのようなサポートすれば良いのかということを考えること、尊重するということを言葉だけではなく自分の行動を通して理解していることではないかと思っています。きちんと声をかけ目を見て待つことができ、優しく介入することができ、優しく介入すること、何のために姿勢を整えるのか、どうして持ち上げたり、引き

ずってはいけな。その理由を専門性と権利を守るという観点から根拠づけることができる、そんなことが大切なのではないかと感じています。

しかし、権利擁護の研修も盛んに行われながらも、障害者・高齢者への虐待などの悲しい事件が後を絶たない現状に心が痛みます。なぜそんな状況にあるのでしょうか。資本主義社会の競争主義のなかでは、お金を儲けること、生産性が善し悪しを図るものになってしまいがちです。経済成長を優先すると、生産性のあるものが優れている、生産性の無いものは下、そんなゆがんだ見えな上下関係ができてしまうのではないのでしょうか。虐待や傷害などという行動に移すことはもちろんあり得ない間違ったことですが、差別をしないと思っているなかにおいても、意識できていないところで見えない空気のような状態で変な上下意識が

はびこっているのではないかと感じます。福祉における人材確保、賃金問題などの課題もそんなことの影響を大いに受けているのではないのでしょうか。「電動車いすまでは要らないだろう」と考えるのか、「人として快適に移動できることを保障することとは当然だ」と考えるのか、制度の問題も経済の問題よりも風土の問題で進まないことが大きいのではないかと感じることも少なくありません。福祉が福祉の枠内にとどまるのではなく、地域の人があたりまえに目の前の人、隣の人を大事にできる、みんな主体であり、お互いに支え合うのだということを理解する。今、ケアを変えるためにも技術だけでなく、みんな地域で風土を作り変えていくことが必要なのではないかと思っています。

『どんな状態でも、どこで暮らしても、人としてあたりまえに暮らすことが保障される地域作りを……』。

| Well-beingを考える |

## 第4回 身体的・精神のおよび社会的に良好な状態 = 幸福

連載

# 下元佳子のつぶやき



Yoshiko Shimomoto

理学療法士、ケアマネジャー、福祉用具プランナー。病院勤務を経て平成15年に合資会社オファーズを設立。平成20年、高齢者・障害者を取り巻く環境を良くすることを目的に「ナチュラル・ハートフルケアネットワーク」を立ち上げる。生き生きサポートセンターラウエス高知代表、日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会理事、日本褥瘡学会評議員を務めている。著書に「モーションエイド—姿勢・動作の援助理論と実践法—」(中山書店)。



セミナー控室にて、以前ご出演いただいた18号(2015年春号)を見ながら談笑。濱野諭さんとのお接し方は、以前の取材時と変わりありません。



彦根市立病院を担当する、大阪営業所の濱野諭さん。日本褥瘡学会のタイカブースにて。

現在でも変わらない関係性がタイカの財産に

今回の新商品「アルファプラ」も、「タイカの新品なら安心してすぐに評価を始めていただきました。退院される患者さんに、在宅へもタイカのマットレスを薦めていただくことが多々あります。タイカとしては、物を売りたいというところではなく、褥瘡を減らしていきたいという思いがあります。そのために、人をつないでいくというのは、社の方針としてみんな常に意識しています。そういうところを意気に感じていただいているのではないかと思います。

WOCの方って、全国に20、30人の同期の方がいらっしゃるって、横のつながりが広いんです。WOCとしての北川さんのご紹介で、全国でいい関係を築

けているという事例が非常に多いですね。タイカにとって、北川さんとの関係性がすぐく財産になっています。北川さんはもう本当に有名になられたまじりましたが、ありがたいことに私たちがとの関係性は変わることなく、お互いにはつきりと思見交換のできる関係になっています。今後、ますます活躍の場を広げていただきたいので私たちが全力でサポートさせていただきますと思っています。彦根市立病院では、今年4月から在宅診療部も立ち上がり、毎日、在宅へ出て行かれています。切手先生もこちらに力を入れておられます。これは、全国のモデルケースになっていくと思います。今後、特定看護師としての活動を通じて、在宅での褥瘡対策も全国へ広がってほしいと期待しています。